

進路探究とは？～「総合的な探究の時間」の学びから「進路選択へ」～

○探究とは

物事の真相・価値・在り方などを深く考えて、すじ道をたどって明らかにすること。

—— 三省堂大辞林

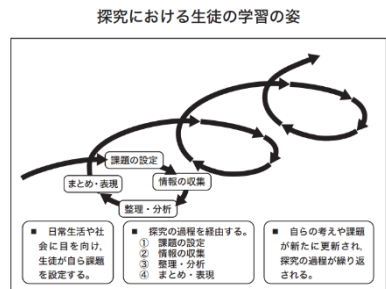
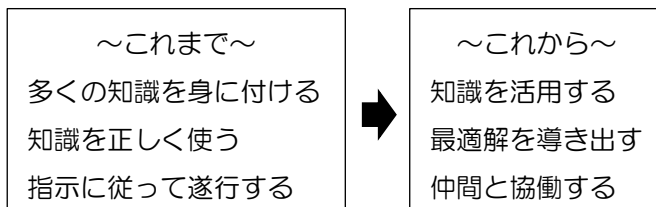
思考によって論証したり問題解決を図ったりすること、あるいは、論証や問題解決のために深く思考すること。そのような営みが「探究」である。

○なぜ探究なのか

今社会で求められている力を身に付けるため

「AI」が今ある仕事に従事し、今後数十年でこれまでにない新たな仕事が多く誕生する「グローバル化の進展」など、予測不能で多様な社会のなかで、自分らしく生き抜いていくための能力を発揮できる人材が求められています。

具体的には、もっている情報（知識）を活用し、自ら問題を発見し、仲間と協働しながら問題解決のための最適解を導き出していく能力です。



文部科学省
今、求められる力を高めるための学習指導

○探究と進路の関連

各学年の探究学習を通して、進路決定を興味・関心

だけではない明確な動機付けを図り、自己実現をめざしていくための目標を設定しています。

- 1 年次：自己理解を深め、持続可能な社会と自分のつながりを考える。
- 2 年次：自分が何を学びたいのか、また持続可能な社会でどのような役割が果たせるのか自己の可能性を探る。
- 3 年次：卒業後の進路に関する探究と持続可能な社会（地域）における自分の役割や取り組みを考え、キャリアを明確にし、生涯にわたる自己の生き方を導き出す。

○総合的な探究の時間（日光学）とは

社会や地域の教育資源を活用し、主体的に取り組むことで様々な問題を「自分ゴト」と

して受け止め、問いを見だし、解決しようとする力を育成する学びです。さらに、このような活動から自らの生き方（進路）を見つけ、具現化するための学習です。

■目標

1. 地域と国際的な課題を知り、その課題の解決を見いだすことができる。
2. 他者と関わる過程を通して、自分の考えを伝える力、相手を理解する力を高めることができる
3. 持続可能な社会の中で自分がどのような役割を果たすことができるのかを考えることができる。
4. 自己の生き方を導き出し、卒業後の進路を考えることができる。

■学年のテーマ

1 年次：社会と自分 2 年次：地域と自分 3 年次：〇〇と自分

○最後に

「なぜ?」「どうして?」という自らが感じた疑問に問いに立て、学校の仲間や社会と協働し、学びのサイクルを繰り返しながら、自分自身のなかで最適だと思える答えを導き出してみてください。

探究学習はやらされて取り組む学習ではありません。自分の興味・関心に基づき、社会や地域の出来事を他人ゴトではなく自分ゴトとして捉えて取り組んでいくものです。探究活動があなたの視野を広げ、将来の進路につながることは間違いありません。